

常緑キリンソウによる アフリカ改善プロジェクト-鳥取県訪問

2016 年 10 月 11 日～12 日



常緑キリンソウ普及協会

常緑キリンソウ普及協会は、一般社団法人コンコルディアクラブと連携してアフリカ改善プロジェクトを推進しています。現在、ボツワナ共和国で常緑キリンソウを使用した環境改善プロジェクトを立上げ、鳥取大学、鳥取大学乾燥地研究センター、ボツワナの大学との連携を図る具体的なプランを策定中です。今回、常緑キリンソウ普及協会と一般社団法人コンコルディアクラブの連携で、ボツワナ共和国のジェイコブ・ンカテ駐日大使の鳥取県訪問が実現しました。今回の訪問の様子が、山陰中央テレビ(TSK)とNHK 鳥取放送局でニュースとして放送されましたので、ご紹介いたします。

下記は、一般社団法人コンコルディアクラブと連携して進めているアフリカ改善プロジェクト概要です。一般社団法人コンコルディアクラブのホームページは、下記アドレスとなります。

<http://concordiaclub.or.jp/>

[2] 環境の“カイゼン” エコロジー社会に向けて『常緑キリンソウ』

乾燥に強い常緑キリンソウの植栽により、建物の“夏涼しく、冬暖かい”環境整備と都市部の景観環境の改善(大量の水を使用しない緑化)と砂漠化防止。キリンソウは鳥取大学と連携。(鳥取大学はボツワナでJICA活動)。2016年ボツワナでのトライアル植栽予定。

常緑キリンソウによる緑化

10月11日(火曜日)スケジュール

06:40 (羽田) - 07:55 (鳥取) ANA293
 09:00 - 09:15 岩美町町長表敬訪問
 10:00 - 11:45 鳥取大学乾燥地研究センター訪問
 12:00 - 13:00 昼食 (鳥取砂丘)
 13:30 - 14:00 鳥取大学学長表敬訪問
 15:00 - 16:00 フジタパラダイスパーク見学
 16:30 - 17:00
 17:00 ホテルニューオータニ鳥取チェックイン
 18:00 - 20:00 夕食
 20:30 - 22:30 二次会
 22:30 - 23:50 三次会

10月12日(水曜日)スケジュール

10:00 ホテル出発
 10:20 - 11:30 浦富海岸遊覧船
 12:00 - 13:00 昼食 (賀露)
 13:35 - 14:20 青翔開智中学校・高等学校訪問
 15:00 - 15:15 鳥取県知事表敬訪問
 15:50 - 16:50 砂の美術館見学
 17:10 - 18:00 鳥取空港 JICA デスク
 18:35 (鳥取) - 19:55 (羽田) ANA298



アフリカ南部ボツワナ共和国の駐日大使が、今日、鳥取大学の研究施設を視察しました。国土のおよそ8割が砂漠というボツワナの経済発展に、鳥取で培われた技術が生かされます。





6:17

鳥取の技術 ポツワナで生かせ
アフリカの砂漠で農業を

写真:在ポツワナ日本国大使館HPより



6:17

鳥取の技術 ポツワナで生かせ
アフリカの砂漠で農業を

写真:在ポツワナ日本国大使館HPより



6:17

写真:在ボツワナ日本国大使館HPより

鳥取の技術 ボツワナで生かせ
アフリカの砂漠で農業を

ボツワナ

国土の約8割が乾燥地
→ 生活環境、経済面で課題

6:17

鳥取の技術 ボツワナで生かせ
アフリカの砂漠で農業を

ボツワナ共和国
ジェイコブ・ディーンカテ大使

経済を支える主な資源はダイヤモンドです





常緑キリンソウの説明。





6:18

鳥取の技術 ポツワナで生かせ
アフリカの砂漠で農業を

ボツワナ共和国
ジェイコフ・ディーンカテ大使

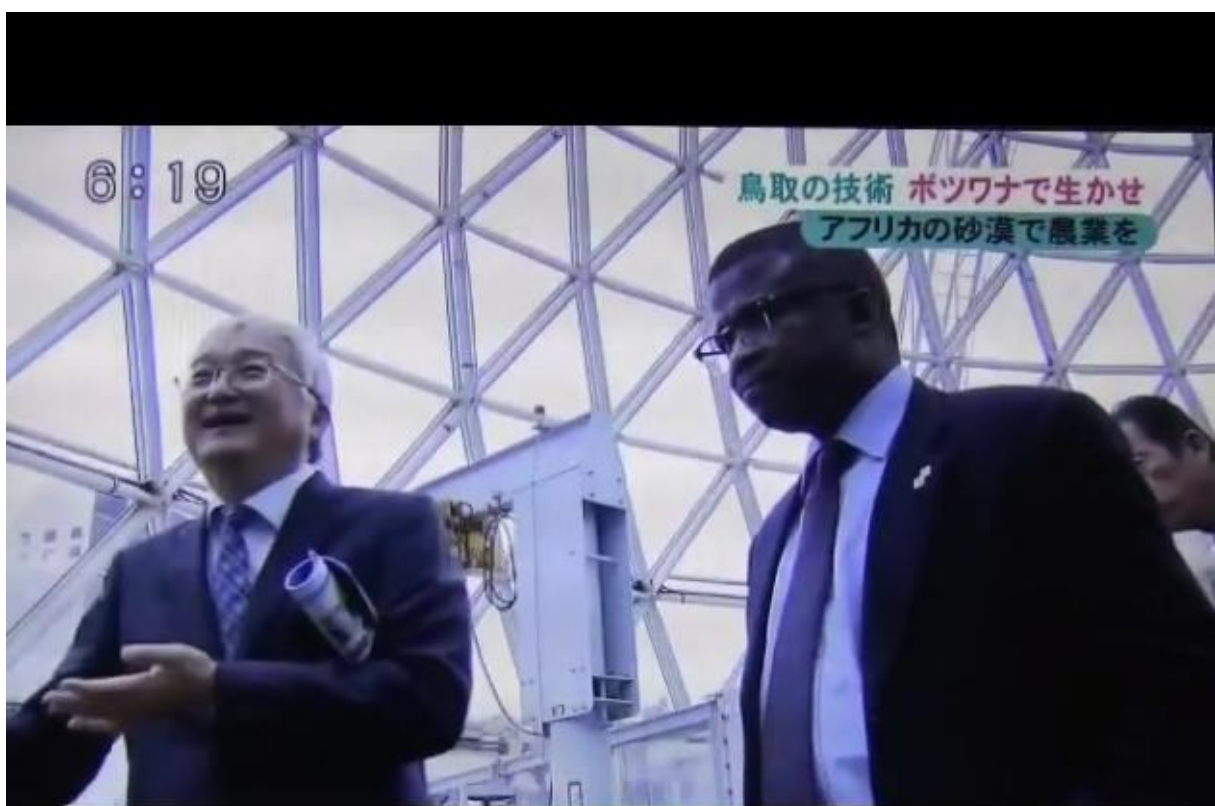
より鳥取大学との関係性を強め
留学生だけでなく専門家も研修させたい

6:18

鳥取の技術 ポツワナで生かせ
アフリカの砂漠で農業を

鳥取大学 乾燥地研究センター
山中典和センター長

国際的に知名度を上げていくことや



鳥取大学は、今後、人材交流などを通じボツワナの課題解決に向けた取り組みに協力したいとしています。







いろんな取り組みがなされていると思いますので、情報発信をやってほしいと思います。情報発信
大切ですね。ここまで鳥大研究施設のニュースお伝えしました。

8:45

TOTTORI NEWS
とっとりニュース845

8:45

浅井 理



キリンソウという緑化植物の研究を進めている鳥取大学の乾燥地研究センターをアフリカ南部にあるボツワナの駐日大使が視察し、今後アフリカの乾燥地帯の緑化事業に役立てられないか検討していくことになりました。





鳥取大学乾燥地研究センターを訪れたのは、アフリカ南部の国ボツワナのジェイコブ・ンカテ駐日大使で、センターが地元企業と研究を進める緑化植物のキリンソウを視察しました。















ボツワナ共和国のジェイコブ・ンカテ駐日大使 AM7:55 鳥取空港に到着。(コンコルディアクラブのメンバーが同行)





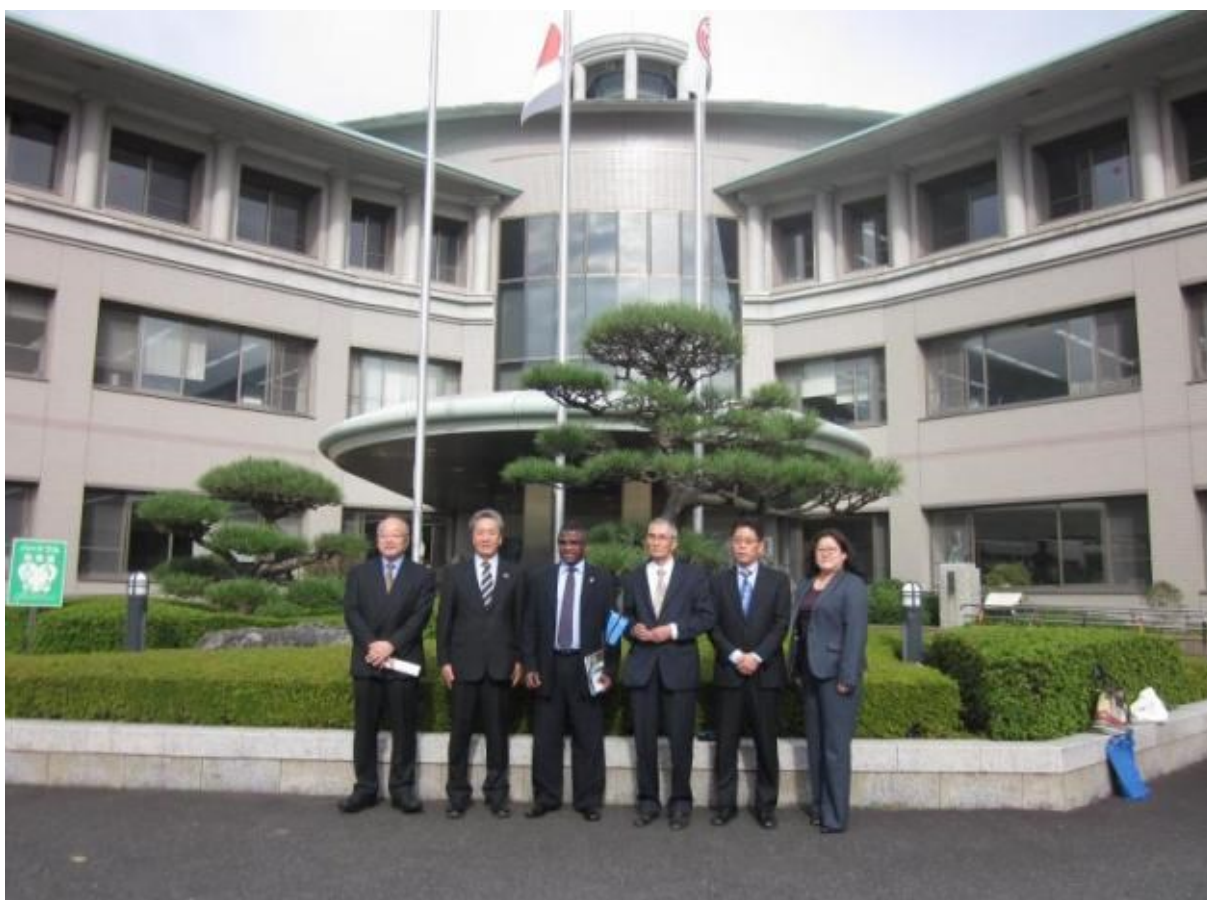
常緑キリンソウ普及協会でマイクロバスを借り、ジェイコブ・ンカテ駐日大使の鳥取県視察をサポート。



ジェイコブ・ンカテ駐日大使を囲んでの記念撮影。



常緑キリンソウを栽培するフジタ・パラダイスパークのある岩美町役場を表敬訪問。
榎本岩美町長との会談。



ジェイコブ・シカテ駐日大使と岩井町長を囲んでの記念撮影。



鳥取大学乾燥地研究センターを訪問し、施設概要の説明を受ける。



常緑キリンソウに関して説明。





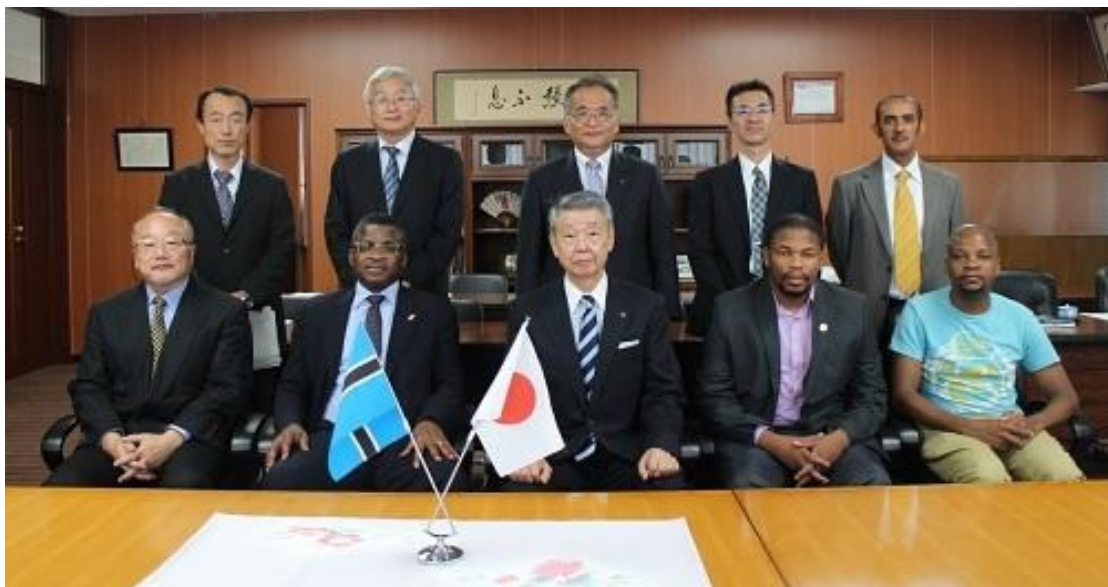
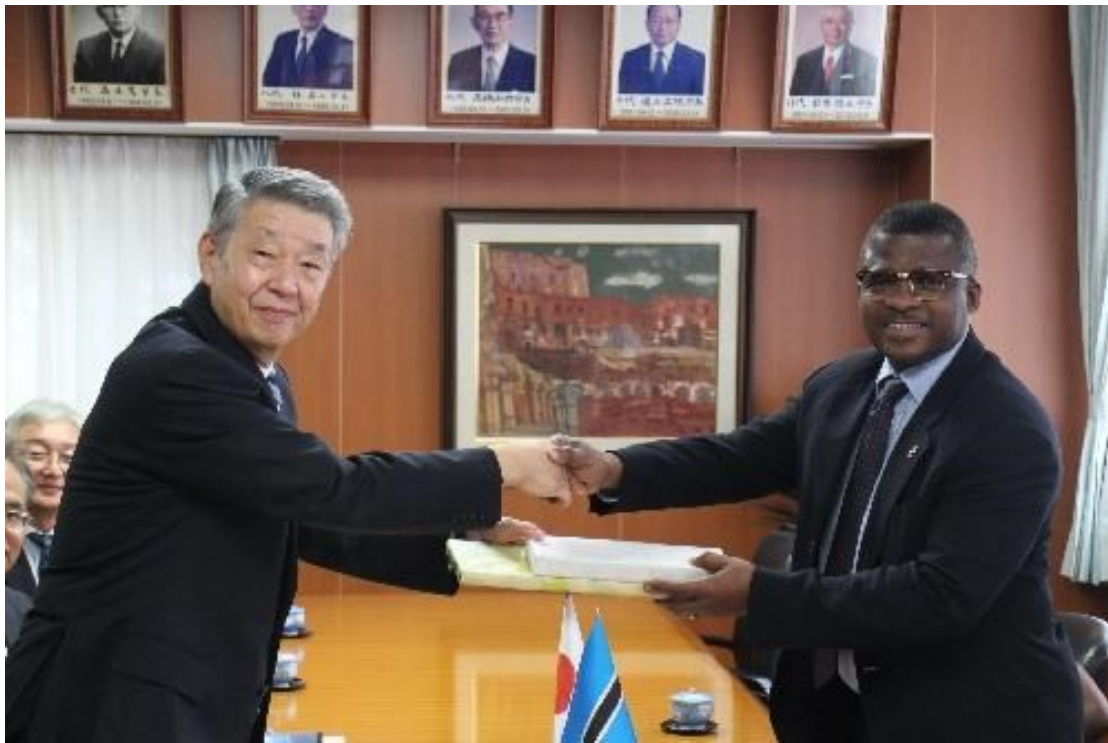
鳥取大学乾燥地研究センターの施設を見学。



辻本教授（左）、ジェイコブ・シカテ駐日大使（中央）、山中鳥取大学乾燥地研究センター長（右）での記念撮影。



藤田社長、ジェイコブ・ンカテ駐日大使、鳥取砂丘での記念撮影。



10月11日、ジェイコブ・ディッキー・ンカテ駐日ボツワナ特命全権大使が鳥取大学長を表敬訪問しました。今回ンカテ大使は、鳥取大学と株式会社フジタパラダイスパークが共同研究を行っている「常緑キリンソウ（乾燥や暑さに対する抵抗力が極めて強く、また耐多湿性や耐寒性も極めて強い植物）」の視察のために来県し、ボツワナ共和国から留学生を受入れている鳥取大学を訪問したものです。

豊島学長は、現在、ボツワナからの留学生1名が本学で学び、博士の学位取得を目指していること、地球規模課題対応国際科学技術協力事業（SATREPS）として、「ボツワナ乾燥冷害地域におけるヤトロファ・バイオエネルギー生産のシステム開発」を行っていることを紹介され、「現在、残念ながらボツワナには鳥取大学と学術交流協定を結んだ大学や研究機関はございませんが、今後、本学とボツワナとの学術交流がさらに深まれば喜ばしい限りでございます。」と挨拶しました。

これに対し、ンカテ大使は「ボツワナは世界一のダイヤモンド産出国ですが、その採掘にも限りがあるので、いつまでもこれに頼ることはできません。また、国土の約80%が乾燥地で、食糧を輸入に頼り、水の確保にも大きな課題を抱えています。日本の研究機関と関係を深めることにより、これらの問題に対処するとともに、鳥取大学との学術交流を進めていきたいです。」と応えました。

<http://www.tottori-u.ac.jp/item/14442.htm>

出典：鳥取大学 HP より



フジタ・パラダイスパークを訪問し、常緑キリンソウの説明や栽培状況を確認するジェイコブ・ンカテ駐日大使。



フジタ・パラダイスパーク事務所内のアフリカ改善プロジェクトのポスター前で、ジェイコブ・ンカテ駐日大使、藤田社長の記念撮影。



フジタ・パラダイスパークから日本の御土産として渡された能面をつけて記念撮影。

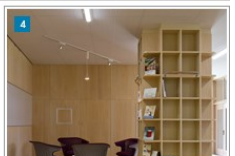
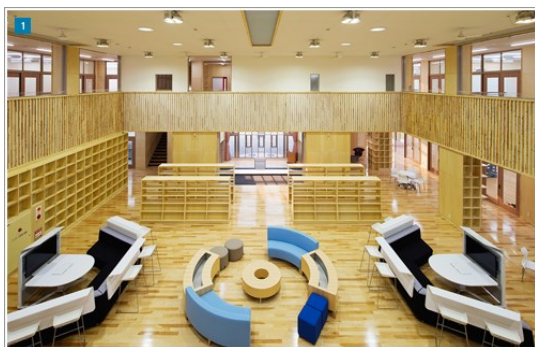


ジェイコブ・シカテ駐日大使歓迎レセプション。
常緑キリンソウの天ぷらが試食に提供されました。





ジェイコブ・ンカテ駐日大使と浦富海岸を遊覧船で観光。



ジェイコブ・ンカテ駐日大使は、教育大臣の経験もあり、教育関係には非常に熱心であり、鳥取では非常にユニークな教育方針を掲げる青翔開智中学校・高等学校訪問。





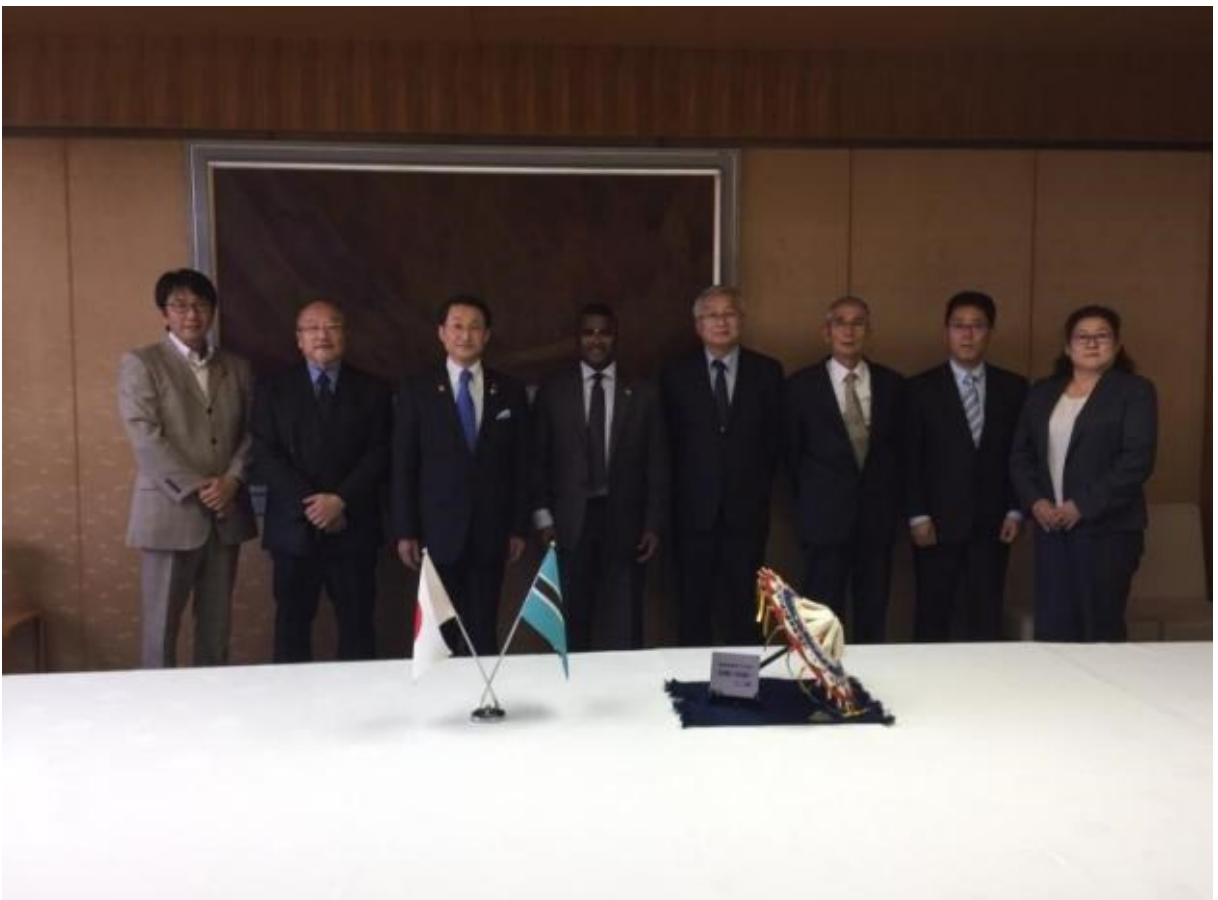
ジェイコブ・ンカテ駐日大使囲んでの記念撮影。



鳥取県平井知事を表敬訪問。



平井知事から、鳥取のスイカはボツワナが起源であり、鳥取とボツワナの深い結びつきについての話がありました。



平井知事とジェイコブ・ンカテ駐日大使囲んでの記念撮影



鳥取砂丘 砂の美術館を訪問。ジェイコブ・ンカテ駐日大使団は、水と砂だけで制作されている事に非常に感動されていました。その後、大使のスマートフォンの待受け画面には、砂の美術館で撮影された写真が使われていました。